

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 237



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の () の数字は請求記号です。)

問) 昭和の風邪の予防法について知りたい。

答) 【なんでも検索】に 風邪 予防 と入力し検索→46件ヒット

この中から雑誌だけを抽出したい場合…

画面上部の 資料の種類: 雑誌 に ⇒ 36件ヒット

『主婦之友 第26巻第2号(昭和17年2月)』(051/Sh99/26-2 閉架雑誌
100018051)

上記雑誌に掲載されていた、当時の風邪予防法の一つをご紹介します。

◆感冒(風邪ひき)の予防と家庭療法(築田多吉)

冷水摩擦の仕方

永年の体験から案出した、一番簡単で有効な摩擦法は左の如きものであります。摩擦用のタワシは薬店にあるから、これを買って最初足から摩擦を初めて裏も表も一ヶ所を二十回くらいずつ入念に摩擦し、足がすんだら腹から胸、首筋を摩擦し、それから両手、背部の順序で摩擦し、終わったら今度は冷水湿布を堅く搾って縄状にして、これで再び足の方から前の通りの順序に摩擦するのです。

…かように皮膚が厚くなると、決して風邪をひきません。

風邪は「感冒」と呼称されることもあります。トップページに戻り、新たにこの言葉でも検索してみましょう。

【なんでも検索】に 感冒 予防 と入力し検索→54件ヒット

『科学知識 第19巻第12号(昭和14年12月)』(405/Ka16/19-12 閉架雑誌
100008748) 家庭医学・感冒の予防と手当(高田義一郎)

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。

検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。

操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

原爆下の対局

将棋界の「藤井聡太二冠」誕生と並び、囲碁界でも芝野虎丸名人・王座が20歳7か月で「十段」を獲得、史上最年少最速で「三冠」を達成するなど、若い世代の躍進が目覚ましいこの頃です。囲碁といえば「本因坊戦」が有名ですが、戦時中に行われた本因坊戦で「原爆下の対局」とよばれる一局があるのをご存じでしょうか。

昭和20年（1945）第3期本因坊戦は、橋本宇太郎本因坊と挑戦者の岩本薫七段による六番勝負でしたが、同年5月25日から翌26日朝にかけての山の手大空襲で赤坂区（現・港区）溜池にある日本棋院会館が全焼し、対局場が失われたため、故郷の五日市町（現・広島市）に疎開していた瀬越憲作八段と日本棋院の藤井順一広島支部長の尽力によって広島市中島にある同支部長別邸（現・広島平和記念公園内）で六番全局を行うこととなりました。

第1局は7月23日～25日、第2局は8月4日～6日に、いずれも同所にて対局予定でしたが、中国総督府の青木重臣警察部長より「広島市内は空襲が激化して危険であるから中止するように」との厳命を受け、第2局以降は広島市から約10km離れた五日市町にある中国石炭配給統制株式会社（現・ちゅうせき）の津脇会長宅にて対局を行いました。

第2局3日目の8月6日。午前8時に対局を再開し、前日までの手順を並べ終えて盤面に向かっているその時に、広島市に原子爆弾が投下されました。突然の閃光とその後の爆風で岩本七段は碁盤の上に俯し、橋本本因坊は庭に飛び出して地面に伏せ、立会人の瀬越八段は床の間を背にしたままで正座していたようです。幸い、けが人等はなかったため、すぐ部屋を掃除して対局を続け、正午頃に白番・橋本本因坊の5目勝ちで終了しました。

藤井広島支部長をはじめ、当日広島市内にいた日本棋院広島支部の関係者は全員、原子爆弾によって亡くなりました。また、瀬越八段の三男は当時中学生でしたが、広島市内で勤労奉仕中に被爆し、その5日後に亡くなりました。

（※文中の役職・段位等は当時のものです）



参考文献：『昭和囲碁風雲録 上』（795/N45/1 開架一般）
『囲碁百年』（795/Y65 地下書庫和図書）
株式会社ちゅうせきウェブサイト <http://www.chuseki.co.jp/history/>

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 237

2020年9月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1